

聖愛

二月号

原町聖愛保育園

二〇〇八年二月一日 発行

寒い日が続いていますが、園庭には水仙の花が芽を出し、春の訪れが近いことを知らせています。

各クラスでは、友だちとの関わりも入園当初に比べ、随分深まっています。今年度残りの日々も、一緒に遊ぶ面白さ、楽しさをより味わえるように配慮していきます。

もう一つの風揚げ

園庭の端の固定遊具のところに、つぼみ組の子どもたちが数人集まってきました。先生が、張ってあったはずらんテープを外していったのです。

先生が外しながら一mくらいの長さにして一人の子どもに渡すと、その子はためらいもなく風揚げのようにして走り出しました。昨日まで風揚げをして遊んでいたのに、紐を手にして連想したのでしよう。教えてもらったように高く手をあげ、後になびく紐を気にしながら、他のクラスの友だちが遊んでいる間をぬって、園庭を駆け回っていました。次々に紐を貰った子が、同じようにして走り出し、みんなの気持ちはすっかり風揚げ気分のようにです。

少ししてから、自分は風(紐)を貰っていないことに気付いた子が、友達が持っているものを取ろうとして取り合いが始まりました。大事な風を取られまいとして必死に逃げる子。それでも欲しくて追いかける子・・・。

ひとしきり走り回って風揚げを楽しんだ子どもたちは、紐を自分の掌に収まるように丸めて握り締め、固定遊具での遊びに移っていきました。別のところでは、一本の紐に繋がって電車ごっこです。またある子は、風として遊んだ紐を、自分の手にぐるぐる巻いて手袋のようにしてみたものの、外そうとしたときに外れずに、紐と格闘をしているようでした。

ごみとして捨てられるはずだったナイロン紐が、子どもたちによって遊び道具となり、十分子どもたちを楽しませ、友達とのやりとりも生まれました。大人の感覚や考えではいらぬとする物も、子どもたちには必要な物はなく、その場やその時の思いつきで、自分なりの遊び道具にしてしまいます。遊び上手な子どもたちは、大人とは発想も着眼点も違うのです。

嬉しそうに紐風遊びに興じる子どもたちと、それを見守る大人たち。ほほえましい風揚げ大会に、寒さを忘れてしまうひと時でした。園長 遠藤美保子



2月の保育目標

主 題 「またあした」

暗唱聖句 主よ、助けてください。

マタイによる福音書8章25節

	保育目標	保育内容	保育者の配慮
てんし 0歳児	◎からだ全体を使い、たくさん動いてみる。	・跳び箱、マットを使って(登る、くぐる、乗り越える) ・フープを使って(ぶら下がる・引っ張る)・真似ごっこ・リズム遊び	・真似てからだ全体を動かすことができるように、保育者自身も手本となって体を動かし楽しむ。 ・一人ひとりの発達を見極めながら個々に遊びに誘いかけ、自発的な気持ちを大事にする。 ・様々な生活場面の模倣遊びを、保育者と一緒を楽しむようにする。
つぼみ 1歳児	◎友だちと一緒にいることを喜び、遊びを楽しむ。	・お家の中でままごとごっこ ・追いかけて(むつくりくまさんかごめかごめ、しっぽとり) ・坂道、砂利道を歩いて散歩	・一つの遊びを共有することが出来るように簡単なルールのある遊びを取り入れ、保育者がリードや仲介をしながら、一緒にいる楽しさを感じられるようにする。 ・言葉のやりとりが出てくる時期なので、時には保育者が言葉を補ってやるなどして、楽しめるようにする。時によっては、友だちとの関わりが増えるように見守る。
はな 2歳児	◎好きな遊びを繰り返し行い、友だちとの関わりを深める。	・お店屋さんごっこ ・雪遊び ・切る、貼る、描く ・長縄とび ・色鬼、かごめかごめ	・集団遊びがなかなか参加できない子には、保育者が声をかけ、一緒に行くなど一人ひとりに合わせながら、集団での楽しさを伝える。 ・一つひとつの行動が丁寧に行えるように、子どもたちへの関わりや声かけを工夫する。 ・保育園での生活が安定し、自分の思いが表現できるように促す。
ファミリークラス 3歳児	◎遊びや毎日の生活の中で友だちの思いに気づいたり、感じたりする。	<室内遊び> なみ：輪つなぎ 水彩画 ※1 ほし：織り機 つき：鎖編み、ミシンかけ	・子どもの意思を尊重し、自ら気づけるような働きかけをする。また個人が伸び伸びと表現できるよう、一人ひとりに応じた対応で引き出すようにする。※1 ・一つの遊びを友だち同士で行い、楽しさや面白さが味わえるようにするが、保育士の仲立ちは極力少なくして、状況に応じて援助する。※2
4歳児	◎様々な経験を通して、友だちと共感合って交わりを深め、交友関係を広げる。	○お別れ会の準備(なみ、ほし) ネックレス、プレゼント作り <戸外遊び> ・しっぽとり ※2	・年長児から教えてもらったことを持続できるよう励まし、達成感や自信への喜びが感じられるようにする。※3 ・友だちとのぶつかり合いは、大切にしながら見守り、互いに譲り合ったり、認め合って面白さが発見できるよう働きかける。※4
5歳児	◎様々なことに関心をもち、興味を持って関わったり、考え、行動する。	・ボール渡しゲーム ※2 ・鬼ごっこ、陣取り ※4 ・係りの仕事 ※3	・自分たちの遊びを楽しめるように時間を十分確保したり、友だちとのつながりや生活を喜んでできる機会を多く設けるようにする。※4 ・自分自身で状況を判断して行動できるよう、本人が先行しすぎないように留意しアドバイスしながらすすめる。※3

＜2月の予定＞

日(曜日)	園の予定	職員の予定
1(金)	節分お楽しみ会	
2(土)	入園説明会	熊坂先生相談会 13:00~16:00
4(月)	しゃりん梅訪問	キ保連役員会
5(火)		起震車体験 13:30~
6(水)	子育てサークル(レインボー)	職員会議
7(木)	小人さんの音楽会	構造化会議
8(金)	久米本先生 来園	
9(土)	保育参観・食育体験 給食試食	
12(火)	合同礼拝(つき・ほし)	聖書研究 タラントの会
13(水)	小人さんの音楽会(プーさん)	マネージャー会議
14(木)		園内研修
15(金)	ポップコーン	ほれん役員会
16(土)		保育研究大会 相双支部総会
19(火)	長寿荘訪問	
20(水)	しゃりん梅訪問 子育てサークル(レインボー)	企画会議
21(木)	避難訓練 小人さんの音楽会	
22(金)	久米本先生 来園	
25(月)	お弁当の日	
26(火)		聖書研究 めぐみの会
27(水)	子育てサークル(プーさん)	給食会議
28(木)	ポップコーン	
29(金)	久米本先生 来園	



長寿荘訪問「スポーツ大会」 2月19日(火) つき組

つき組の子どもたちが招かれ、入居者のみなさんと一緒に、体を動かしてゲームをするなど、楽しい触れ合いのひとつきを過ごす予定です。

※当日は、制服着用し8時30分までに登園してください。

ひな祭りお楽しみ会 3月3日(月) 全園児

礼拝後、ひな祭りの由来についての劇を見たり、各クラスからの演じ物を楽しんだりして、成長を喜び合います。

○ひな祭りの由来○



ひな祭りは「桃の節句」「上巳の節句」と言われ、女の子の健やかな成長と幸福を願いお祝いします。昔は、紙や布で作られた人形で、体をなで汚れを移し、川に流して災厄を払う「ひな流し」を行っていました。現在のように、ひな人形を飾るようになったのは、江戸時代のことです。

「きのこを育てよう」 食育体験 2月下旬

県相双農林事務所森林林業部の方に教えていただき、子どもたちと一緒に、きのこの菌を木に植える作業をします。

12月に職員が山で伐採してきた、コナラの木に植えます。子どもたちと大切に育て、食す楽しさも味わいたいと考えています。

日頃食べている野菜や米などが、どうやって育てられているか普段はあまり意識することは少ないですが、すべてのものが一つひとつ手をかけて育てられている事を知ると、「大切にする」意味が理解でき、食材に対しての見方も変わってきます。



お知らせ・お願い

◎午睡用タオル類の持ち帰りは、2月8日(金)、22日(金)です。

「また あした」 今月の主題から

4月から比べると、友だちとの関係も深まり、遊びに友だちを誘い一緒に楽しんだり、帰る際に「またあしたね!」などの声をかけたりする様子が出てきました。

子どもは周りの人に対して、微笑んだり、問いかけたり何らかの形で働きかけをします。それに対して、大人が適切な応答を返し、そうした相互行為が繰り返されることが、社会力を培う上でなにより重要なことです。(参考図書 子どもの社会力 門脇厚司著)

子どもにとっては、友だちを始めとして今周りにいる人たちとの関わりが、すでに社会とのつながりとなっています。そのことを意識し、子どもの問いかける言葉、表情に、まず大人が一つひとつ応答してやりとりを積み重ねていくことが大切です。

環境を考えて、自分たちで出来ることを

今年の保育テーマは「川と海」。活動しながら、私たちの住む地域の環境について考える機会も増えました。

11月の海や川でのエコ活動では、沢山のゴミが集まりましたが、改めて身近な所でも環境の汚染がすすんでいることを実感しました。地球環境はこうしたゴミの問題だけではなく、地球の温暖化や公害・環境汚染、森林破壊など様々な問題があります。

こうした問題は、次世代の子どもたちへも引き継がれていきます。日常で出来ることを実践し、子どもたちに良い環境を残せるようにしていきたいと思います。

1. レジ袋をもらわない。～買い物はマイバックを持参で～

ビニール袋は自然界では分解されにくく、かなりの年数がかかります。その大半が埋め立てごみとなるか、海へと流されてクジラやイルカなど海の生物の口に入り害になります。紙袋は、製造過程で水質汚染を引き起こしていると言われてます。

買い物には自分のバックを持っていき、できるだけビニール袋や紙袋の消費をしないよう心がけましょう。

2. 冷暖房を1℃抑えましょう。～衣服で調節～

例えば、室内でセーターを着て、暖房の設定温度を1℃下げるだけでも、光熱費が節約できると同時に、年間の二酸化炭素の排出を少なくすることができます。寒い時には、温度をあげるより衣服で調節しましょう。夏は、1℃高めに温度設定します。



3. 待機電力をなくしましょう。～まめにプラグを抜く～

電気製品は、スイッチが入っていない時でも電力を消費しています。こうした待機電力だけでも、かなりの二酸化炭素が出ています。

4. 水を大切に使いましょう。

数年の間に温暖化がすすむことで、水不足の問題が出てきます。必要以上に水を使う事は控えましょう。手洗いの際水を出し過ぎない、歯磨きの時の流水など、水を大切にすることを子どもたちにも伝えていきます。

5. 自然の中に出かけよう。～「関わり・つながり」を考える～

私たちが大切にしたいものは何か。自然の中に出かけてみることで気がつくことがあります。小さな生命との出会い、体を動かす気持ち良さ、自然の中での新たな発見は体験として大きなものです。

自然と自分との関わり、つながりを実感することで、環境にも興味が出てきます。園外保育に出掛けた際には、ゴミを拾うことも行っています。

(参考図書 地球環境の教科書10講 他より)

○次回のエコ活動○

・3月9日(日) 午後1時～2時半まで。

・場所は、萱浜海岸です。

ぜひ、子どもたちと一緒にご参加下さい。

